

はじめにお読みください (議事の進め方、各資料の説明と主な状況)

総合計画審議会では、委員の皆さまからのご意見や見解をいただく時間を多く設けたいと考えています。

限られた時間の中でそれを実現するためには、会議当日の事務局説明の時間を極力減らす必要があります。

そこで、「当日の議事の進め方」とともに、「送付した資料」について審議会で事務局から説明をする内容も含めて、本書に記載いたしました。

本書とともに各資料を事前にご確認いただきますようお願いいたします。(お忙しい方は、ご自身に関係の深い分野、関心のある分野だけでもご確認ください。)

委員の皆さまの中には、各資料の中で使われている用語が専門的で聞きなれない、意味が分からないといった委員もいらっしゃると思います。ご不明な点、事務局に確認しておきたい点等がありましたら、下記までお知らせください。審議会当日までに回答させていただきます。

なお、担当者が電話に出られない場合もありますので、ご質問等につきましては、メールでいただけますと幸いです。

審議会当日はどうぞよろしく願いいたします。

<お問合せ先>

〒484-8501 犬山市大字犬山字東畑 36 番地

犬山市役所 経営部 企画広報課 後藤 倉知

電話 0568-44-0312(直通) FAX 0568-44-0360

E-mail 010100@city.inuyama.lg.jp

0. はじめに（第5次総合計画等とは）

1. 第5次犬山市総合計画（＝総合計画、総計、5次総）

第5次犬山市総合計画は、長期的な市政の方向性を示し、市民と行政が主体的かつ計画的にまちづくりを進めていくため、次の3つの役割を担うものとされています。

- ・市の最上位計画であり、犬山市政の道しるべとなる“市政の羅針盤”
- ・市民の参画と行政との協働による“まちづくりの行動指針”
- ・計画的なまちづくりの達成状況を測る“進行管理の基準”

平成23（2011）年度から令和4（2022）年度までの計画となっていますが、平成28（2016）年度に中間見直しを行い、現在は『第5次犬山市総合計画改訂版（平成29（2017）年度から令和4年度（2022）年度まで）』となっており、計画期間は満了しています。

2. 第2期いいね！いぬやま総合戦略

市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生（※）に関する施策についての基本的な計画＝市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略。犬山市では、市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略の名称を「いいね！いぬやま総合戦略」としています。

※ まち・ひと・しごと創生が目指すもの

「まち・ひと・しごと創生は、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。」とされています。

3. 地方創生関係交付金（地域再生計画）

国は、地方公共団体による地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生（地方創生）に資する事業の効率的かつ効果的な実施を図ることを目的に、地域再生計画に記載された、市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期いいね！いぬやま総合戦略）に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業の実施及びそれと一体となって整備される地方創生の推進に資する施設に要する費用に充てるため、地方公共団体に対して交付金を交付することとしています。

参考 URL（内閣府ホームページより）

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/index.html>



【QRコード】

※上記 URL 内「地域再生制度パンフレット（令和4年7月版）」の6ページに概要が記載されています。

1. 議事の進め方

(1) 第5次犬山市総合計画等の進捗について

関連資料

- ・資料1 第5次犬山市総合計画（改訂版）指標等 結果報告書
- ・参考資料1 第5次犬山市総合計画（改訂版）目標指標一覧
→計画期間満了時における目標指標の結果を報告します。

- ・資料2 総合戦略関連事業進捗状況一覧表
→令和4年度における重点事業の進捗状況を報告し、ご意見をいただきます。
- ・資料3-1 地方創生関係交付金の効果検証（地方創生推進交付金）
- ・資料3-2 地方創生関係交付金の効果検証（地方創生拠点整備交付金）
→地方創生交付金関連事業の内容と市内部で検証した結果を報告し、ご意見をいただきます。

事務局が作成した関連資料を見て、ご自身の活動等に関係の深い分野、関心のある分野について思ったことや見解を教えてくださいと考えています。

(2) 第2期いいね！いぬやま総合戦略の改訂について

関連資料

- ・資料4 新旧対照表（第2期いいね！いぬやま総合戦略）
→新たな人口ビジョンの策定に伴い、現行の総合戦略の「人口目標」等関連する部分の更新内容を報告します。

2. 各資料の説明と主な状況

資料1 第5次犬山市総合計画（改訂版）指標等 結果報告書

（1）資料の説明

総合計画には、計画終期における目標を設定している指標等が掲載されています。本資料は、計画期間終了時点における指標等の達成状況を報告するものです。

なお、データについては、現時点で把握している直近の値を使用しています。（指標によって、データ時点が異なります。）

また、基本構想における「1. 人口の目標」及び「2. まちづくりの達成指標」においては、計画終了時点での値が把握できていない（2022年に国勢調査や市民意識調査が実施されていない）ため、直近で把握している数値までの傾向を加味して達成状況の判断をしています。

（2）まちづくり宣言別計画の達成状況評価について

計画終期の目標値に対する、計画期間終了時点での達成状況を％（達成率）で算出し、下記の基準で評価をしています。

評価		基準
達成		達成率 100%以上
未達成	A	達成率 50%以上 100%未満
未達成	B	達成率 0%以上 50%未満
未達成	C	達成率 0%未満

(3) まちづくり宣言別計画の達成状況結果概要

- ・目標値を達成している指標は188件中61件[32.45%]。
- ・達成割合上位3宣言及び下位3宣言は以下のとおり。

○達成割合上位3宣言

宣言		基本施策
5	誰もが安心して暮らせるまちをつくります！	地域福祉、高齢者福祉、子育て支援、障害者（児）福祉、社会保障
6	災害や犯罪などに対する地域の安全性を高めます！	治山・治水、防犯・交通安全、防災、消防・救急
9	豊かな心と生きる力をはぐくむ教育を実現します！	学校教育、社会教育、スポーツ

○達成割合下位3宣言

宣言		基本施策
2	自主財源の確保に向けた行財政運営を進めます！	行政改革・行政運営、情報の共有と発信、財政運営
3	市民と行政が一体となりまちづくりに取り組みます！	市民協働、市民交流、平和・共生
4	まちににぎわいと活力をもたらす産業を盛り上げます！	新たな交流拠点、農業、商業、工業、観光、勤労

→未達成となってしまった主な理由

- ①コロナ等の外的要因
- ②予算の都合等の内的要因
- ③5次総改訂版の目標指標及び目標値の設定方法や進捗管理の方法に問題があった

※第6次総合計画の進捗管理等について

→上記③の問題点を改善する形で新たに設定した、各施策における達成指標及び目標値【目指す方向】によって計画の進捗を確認していく。

→市民アンケートや審議会での意見等を踏まえて整理した、6次総基本計画の「取組みの方向性」に沿って各施策を推進していくことで、より適切で効果的な事業実施ができると考えている。

資料2 「総合戦略関連事業進捗状況一覧表」

(1) 資料の説明

総合戦略に記載している個別事業（総合戦略_本冊 P35～37 参照）の進捗状況の一覧表です。

総合計画と総合戦略は密接に関わっていることから、第2期いいね！いぬやま総合戦略の策定にあたっては総合計画審議会へ諮問し、答申をいただきました。

このような経緯から、本会議にて取り上げさせていただいております。

(2) 用語解説（抜粋）

番号	用語	解説
①	チャレンジする重点事業	総合戦略で目指す3つの「まち」の実現に向け取り組むべき事業を体系化しています。
②	新たにチャレンジする主な取り組み	総合戦略に記載された26の重点事業に関わる68の個別事業を掲載しています。総合戦略_本冊 P35～P37 参照)

(3) 結果概要

○全68事業の実施状況は下記のとおりです。

準備中	3件
実施中	50件
完了	15件

※ 事業は始まっているが、次年度以降内容の拡充等を予定しているものについては「実施中」とし、補助制度や事業スキームが出来上がって引き続き継続していくものについては「完了」としてきます。

※ 「準備中」の3件（前年比-2件）は、計画期間終期の令和6年度までに「実施中」又は「完了」となることを目指しています。

資料3 「地方創生関係交付金の効果検証」

(1) 資料の説明

市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（=いいね！いぬやま総合戦略）に位置付けられた事業の実施に要する費用に充てるため、国は地方創生関連の交付金を設けています。

ここでは、現在、犬山市が実施している地方創生交付金関連事業の内容と、市内部で検証した結果等を記載しています。

○交付金の種別ごとの内訳

<地方創生推進交付金（2件）> 【資料3-1】

- ①犬山市協働プラザを拠点にした人材育成で地域の資源の活用、課題解決事業
- ②「安心」は「住む」の壱丁目壱番地！災害に強い魅力あるまち犬山シティプロモーション事業

<地方創生拠点整備交付金（2件）> 【資料3-2】

- ①伝統文化を活用した観光コンテンツ造成のための施設整備計画
- ②コミュニティ参加促進 交流を通じて定住したくなる地域の拠点整備事業

※ 上記のうち網掛で表現している1事業については、既に交付金の交付期間が終了していますが、交付期間後も一定期間目標値を設定しているため、検証結果を掲載しています。

(2) 用語解説（抜粋）

番号	用語	解説										
-	K P I	地方創生関連の交付金を申請するにあたって作成した各種計画に掲載したK P I（重要業績評価指標。目標の達成度合いを図る定量的な指標のこと。）を記載しています。										
-	R4 結果	2022（R4）年度末時点における数字を記載しています。										
-	事務局評価	<p>交付金事業を通じて、地方創生にどれだけ効果があったのかを4段階で評価しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地方創生に非常に効果的であった</td> <td>指標が目標を上回ったなどの場合</td> </tr> <tr> <td>地方創生に相当程度効果があった</td> <td>目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度（7～8割）達成したなどの場合</td> </tr> <tr> <td>地方創生に効果があった</td> <td>目標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなどの場合</td> </tr> <tr> <td>地方創生に効果がなかった</td> <td>実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合</td> </tr> </tbody> </table>	区分	内容	地方創生に非常に効果的であった	指標が目標を上回ったなどの場合	地方創生に相当程度効果があった	目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度（7～8割）達成したなどの場合	地方創生に効果があった	目標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなどの場合	地方創生に効果がなかった	実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合
区分	内容											
地方創生に非常に効果的であった	指標が目標を上回ったなどの場合											
地方創生に相当程度効果があった	目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度（7～8割）達成したなどの場合											
地方創生に効果があった	目標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなどの場合											
地方創生に効果がなかった	実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合											

(3) 結果概要

地方創生に非常に効果的であった	2 事業 (0 事業)
地方創生に相当程度効果があった	1 事業 (1 事業)
地方創生に効果があった	0 事業 (0 事業)
地方創生に効果がなかった	0 事業 (0 事業)

※ 括弧内は、交付期間が完了した事業数です。

○主な取組とK P I への影響について

<地方創生推進交付金>【資料3-1】

①犬山市協働プラザを拠点にした人材育成で地域の資源の活用、課題解決事業

→犬山市協働プラザでは過去2年の経験を踏まえて事業を実施。対話の場づくりとして実施しているフューチャーセッションの新たな参加者を獲得したことがK P I の達成につながっています。

②「安心」は「住む」の巷丁目壱番地！災害に強い魅力あるまち犬山シティプロモーション事業

→住宅展示場などの民間や愛知県の主催する自治体P R イベント等に参加して移住・定住相談会を開催するなど、市外に住む子育て世代に対し積極的に市の情報発信ができており、K P I の達成につながっています。

<地方創生拠点整備交付金>【資料3-2】

①伝統文化を活用した観光コンテンツ造成のための施設整備計画

→新型コロナウイルス感染症の影響のあった令和3年度に比べてイベント参加人数等が回復傾向になったことに加え、積極的な情報発信がK P I の増加につながっています。

②コミュニティ参加促進 交流を通じて定住したくなる地域の拠点整備事業

→東地区の地域コミュニティ拠点施設を整備したことにより、コミュニティ活動が活性化し、K P I が達成できています。

資料4 新旧対照表（第2期いいね！いぬやま総合戦略）

(1) 資料の説明

第6次総合計画策定に合わせ、新たな人口ビジョンを策定しました。それに伴い、現行の総合戦略の「人口目標」等関連する部分の更新が必要となりました。

更新箇所を新旧対照表にてお示しするものです。